



2025年4月17日

各 位

東南アジア圏における「にゃんまるコイン」クロスボーダー送金試験の開始！

当社子会社である GFA Capital 株式会社（以下、「GFA Capital 社」といいます。）は、暗号資産「にゃんまるコイン（\$NYAN）」を用いた国際送金スキームの社会実装に向け、東南アジア地域、とりわけインドネシア共和国において、クロスボーダー送金の実証実験を開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 本取り組みの背景と目的

近年、Web3 技術を活用した金融インフラの整備が世界各地で進む中、銀行口座を保有していない未銀行層（Unbanked）への金融アクセス提供は、国際社会においても重要な課題として認識されております。

GFA Capital 社が保有する「にゃんまるコイン（\$NYAN）」は、国内大手エンターテインメント企業の公式キャラクターをモチーフとしたミーム型トークンであり、ユーモアと親しみやすさを備えつつも、高い拡散力と国際的な認知拡大を背景に、投機用途にとどまらないユースケースの創出を目指してまいりました。

今回、東南アジア地域、特に銀行インフラの整備が十分とは言えないインドネシアにおいて、「にゃんまるコイン（\$NYAN）」を活用した Web3 型クロスボーダー送金スキームの実証を開始することにより、“ミームによる金融包摂” *という新たなコンセプトを掲げた社会実装モデルの確立を目指してまいります。

2. 実証実験の概要

本実証は、インドネシアの現地パートナー企業・団体との連携のもと、以下の要素に焦点を定めて、段階的に進めてまいります。

- にゃんまるコインを用いた P2P 送金・ウォレット配布モデルの検証

- 現地通貨（ルピア）への交換経路の試験的導入と UX 改善
- Worldcoin 等の個人認証プロトコルとの連動による本人確認体制の構築
- モバイル端末・通信インフラを活用したアクセス拡張の検討

将来的には、教育支援・医療インセンティブ・小規模事業支援など、現地生活圏における実用場面での活用を見据えた検証を行っていく予定です。

3. 今後の展望

当社グループは本件を通じて、「にゃんまるコイン」のユースケースを“投機資産”から“実需ベースの通貨”へと拡張し、Web3 型金融サービスの提供主体としての機能強化を図ってまいります。

加えて、今後予定されているインドネシア現地での Web3 インフラ整備構想や、MVMNT プロジェクトとの接続などを通じ、アジア地域におけるトークン経済圏の確立を推進してまいります。

なお、本取り組みが現時点における当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後の進展に応じて速やかに開示を行ってまいります。

■運営会社概要

会社名：GFA Capital 株式会社

所在地：東京都港区南青山二丁目 2 番 15 号ウィン青山 BIZ+

代表者：代表取締役 松田 元

事業概要：企業・ファンド等への投資及び投資先支援、投資運用に関するアドバイザー

■GFA 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

当社については、『最先端フィンテックで未来の金融を支える』をテーマにメタバースや金融事業を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGs を重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社を目指しています。

多分野に広がる当社のグループ企業のネットワークから、金融事業にフォーカスしたノウハウを集め、個人・法人問わず顧客ニーズに柔軟性ある確かな答えを提供していきます。

以上